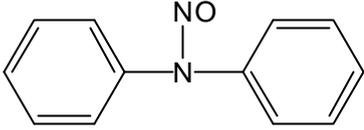


化学物質安全性(ハザード)評価シート(要約版)

整理番号	2001 - 32	官報公示 整理番号	3 - 431 (化審法) 1 - 238 (化学物質管理促進法)	CAS 番号	86 - 30 - 6
名 称	N-ニトロソジフェニルアミン 別名：N,N-ジフェニルニトロソ アミン		構 造 式		
分 子 式	C ₁₂ H ₁₀ N ₂ O		分 子 量	198.23	
市場で流通している商品(代表例) ¹⁾ 純 度 : 不明 不純物 : 不明 添加剤または安定剤 : 不明					
物理・化学的性状データ 外 観 : 黄褐色固体 ²⁾ 融 点 : 66.5 ²⁾ 沸 点 : 268 ³⁾ 引 火 点 : 文献なし 発 火 点 : 文献なし 爆発限界 : 文献なし 比 重 : 1.23 ²⁾ 蒸気密度 : 6.83 (空気 = 1) 蒸 気 圧 : 13 Pa (0.1 mmHg) (25 ²⁾) 分配係数 : log Pow ; 3.13(実測値) ^{2,4)} 、3.16 (計算値) ⁴⁾ 加水分解性 : 加水分解を受けやすい化学結合なし 解離定数 : 文献なし スペクトル : 主要マススペクトルフラグメント m/z 168 (基準ピーク, 1.0)、77 (0.26)、51 (0.52) ⁵⁾ 吸脱着性 : 土壌吸着係数 K _{oc} ; 1,200 ²⁾ 粒度分布 : 文献なし 溶 解 性 : N-ニトロソジフェニルアミン/水 ; 35.1 mg/L(25 ²⁾) アセトン、エチレングリコール、ベンゼンなどの有機溶媒に可溶 ²⁾ 換算係数 : 1 ppm=8.25 mg/m ³ (気体, 20 ²⁾) 1 mg/m ³ =0.121 ppm					

総合評価

1) 危険有害性の要約

ヒトにおける情報は無い。

実験動物では、眼への刺激性がみられている。また、ラットへの長期経口投与によって膀胱の炎症、扁平上皮化生、移行上皮の過形成、さらには移行上皮癌の誘発がみられている。変異原性・遺伝毒性については、*in vitro* の試験では陰性と陽性の両方の結果がみられ、*in vivo* の試験は全て陰性である。生殖・発生毒性についての報告はない。代謝において脱ニトロソ化が起こることが知られている。

本物質は環境中に放出された場合、水圏では生分解されにくい、濃縮性は低い。大気中では OH ラジカルとの反応が関与しており、半減期は 1 日以内と計算される。環境省のモニタリングでは水質及び魚類から検出されたことがある。水圏環境生物に対する急性毒性は、魚類に対しては強い。

2) 指摘事項

- (1) ヒトへの影響に関する情報が無い。
- (2) 実験動物において膀胱に腫瘍発生がみられている。
- (3) 化学物質管理促進法の第一種指定化学物質に指定されており、排出量の管理が必要である。

参考資料

- 1) (社)日本化学工業協会調査資料 (2001).
- 2) Hazardous Substances Data Bank (HSDB), U.S. National Library of Medicine (2001).
- 3) ChemFinder, <http://chemfinder.cambridgesoft.com/> (2001).
- 4) KowWin , Syracuse Research Corporation.
- 5) NIST Library of 54K Compounds.